

「荒尾市デジタルトランスフォーメーション(DX)推進計画(素案)」に対する行政改革審議会委員の意見と対応方針

資料3-1

【期間】 令和3年12月13日～令和4年1月12日

【結果】 いただいたご意見：9件(5人)

	ご意見の内容		ご意見に対する市の考え方
1	P.4	<p>荒尾市DXの目的</p> <p>市役所の使命は「市民の幸せを追求する」ことにある。残念ながら従来の行政サービスの手法では経営資源の面で制約があり、大きな進展は期待できない。そのような中、デジタル技術の進展はめざましくあらゆる場面での変革を生み、住みやすい地域社会を実現することができる。荒尾市は今こそ市を挙げてDXに大々的に取り組むべきで、行政サービスのあり方を変革することは、更なる変革を次々に生み出すことになる。</p> <p>市役所がDX化の推進拠点として魅力的に変わっていくことで、市民の幸せは増大し、「人がつながり幸せつくる快適未来都市」ができると思う。市政と市民の心をつなぐチャンスなので、頑張ってもらいたい。</p>	<p>本市は、RPAの導入やスマートシティの推進など先んじて取り組んできました。本市の特性や実情を踏まえ策定した本計画で、これまでの取り組みを留めることなく再加速させ、DXによる課題解決と新たな取り組みにチャレンジするタイミングが「今」であると考えます。</p> <p>「人がつながり幸せつくる快適未来都市」実現に向け、全力で推進してまいります。</p>
2	P.9	<p>DXアクションプラン</p> <p>この計画がすべて実行出来たら、どんなに素晴らしい「暮らしたいまち荒尾」が実現するだろうと期待しています。</p> <p>第3章からが実際に行動に移していく項目になるが、令和4年度以降の実施項目について</p> <p>①荒尾市の高齢化が進んでいることにより、デジタル化についていけない人がでてくるのではないかと。その対応は。またそれらの機器の購入資金はどうするのか、など。</p>	<p>アクションプランについては、今後、ワーキングチーム等を中心に検討していきます。いただいたご意見も参考にさせていただきながら検討してまいります。</p>

		<p>②行政担当課ごとのオンライン化がいつまでに、どれだけ進んでいるかを市民に知らせ、活用できることの広報が必要になっていく。また、4月の異動等により情報管理や情報伝達など業務が効率的にいくようシステム作りも必要ではないか。</p> <p>③情報管理システム、セキュリティ対策は大丈夫か。</p> <p>④相談窓口→各種担当課への連絡→手続完了といった、行政手続きのワンストップ化を進めていてもらいたい。</p> <p>⑤現在、開発が進められている「あらお海陽スマートタウン」を実証実験場所として考えていかれると思うが、その進捗状況については多くの市民が共有できるシステムを作ってほしいと思う。</p>	
3	P.15	<p>数値目標</p> <p>「デジタル化による便利さを感じる市民の割合」の現状値は把握しているか。</p> <p>また、荒尾市のインターネット利用状況が低いということだが、向上させるような市の方策はあるか。</p>	<p>現状値については把握しておりません。</p> <p>インターネット等の利用状況向上に向けては、デジタルデバインド対策の中で今後検討していきます。</p>
4	P.18	<p>くらしのDX</p> <p>くらしのDXには、「あいのりタクシー、おもやいタクシーを活用した最適な交通網の構築とキャッシュレス化の推進」を掲げたほうがいいのではないかと。</p> <p>P12の3行目に、「交通機能の低下」という課題が掲げてあり、それに対応した施策があった方が良くと思う。</p>	<p>公共交通などの移動に関しては、本市の課題の1つであると認識しています。荒尾ウェルビーイングスマートシティ実行計画と連携しながらキャッシュレス化の推進についても、「暮らしのDX」もしくは「産業のDX」のいずれかで、アクションプランの中で取り組めるよう検討していきます。</p>
5	P.18	<p>くらしのDX</p> <p>市のSNS活用の現状はどうか。双方向コミュニケーションツールとは具体的に何か。</p>	<p>本市の現状としては、LINEとFacebook、Instagramを活用している。LINEについて機能拡張を行い、双方向のコミュニケーションツールとしての活用方法を検討しているところです。</p>

6	P.19	<p>産業のDX 商工会議所では「Arao Pay」アプリを開発しプレミアム付き商品券事業として活用している。今後、「Arao Pay」を地域通貨として進化させ、循環型社会の構築を目指しているため、ぜひ検討していただきたい。</p>	<p>キャッシュレス化の推進やデジタル地域通貨等については、アクションプラン策定の際には検討していきます。</p>
7	P.21 P.22	<p>行政の果たすべき役割とありたい姿 言いたいことは理解できるが、P10の目指す姿があって、P22のありたい姿があるので違和感を感じる。P21の部分はP14か23の推進体制の方がいいかと思う。 また、P22に取組指標を示すとあるが、年度毎または最終の目標数値がない。</p>	<p>荒尾市DXを「行政のDX」がけん引していくための決意と、ワーキングチームによる市役所を「こう変えたい」という思いを【行政のDXのありたい姿】で表しました。 取組指標については、年度毎の達成目標は図8で示すとおりですが、全体目標としては P15 で示した「行政手続きのオンライン化割合100%」を目指します。</p>
8	P.23	<p>推進体制 荒尾市DX推進本部には、総務部長のみならず産業建設部長、および産業振興課長も加えたほうがいいのではないかと。産業のDXの代表課が産業振興課であるので。</p>	<p>DX推進計画は様々な部署が横断的に取り組みます。代表課だけでなく全ての部署を巻き込み、重点戦略の3つのDXに取り組みますが、推進本部はそういった取り組みを全庁的に調整、推進していくため、この構成としています。</p>
9	P.23	<p>推進体制 DX推進には市役所内のデジタル人材の確保が何よりも重要と考えます。外部の専門的人材を登用とありますが、IT企業等との連携は考えているか。</p>	<p>市役所内部の人材育成をしながら、外部人材の活用等も検討していきます。現在、あらおスマートシティ推進協議会をはじめ多くの企業等と連携させていただいておりますが、外部人材の活用については、これから検討していきます。</p>